

# Active stage at HK

～東海南中学校だより～ 令和4年5月号



# 学校はみんなが活躍する舞台 入学式

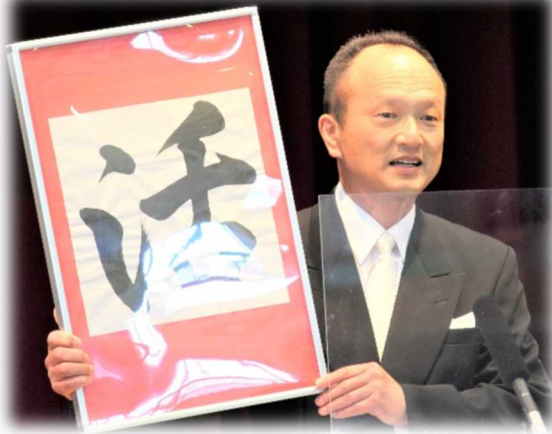
校門の二本の桜は、新入生の入学を待っていたかのように咲き誇り、園芸委員さんが大切に育ててきた花々が体育館を華やかに彩っています。4月8日、26名の新入生を迎え、令和4年度の入学式が挙行されました。新入生は新しい大きめの制服に身をつつみ、緊張しながらもキリッとした態度で入場しました。そして、担任の田中知子先生の呼名に元気よく返事をし、入学を許可されました。

私（岩崎）からは、「誰もが新しい仲間と仲良くしたいと思っているはず。その気持ちを素直に出しましょう」そして、今年も「活」の一字を掲げ、「東海南中学校は、みんなが活躍する舞台・アクティブステージです。自分の良

さを最大限に発揮し、思う存分活躍してください。しかし、いじめや冷やかしのあるクラスではアクティブステージはありえません。一步踏み出し頑張ろうという仲間をみんなが応援できる温かく活気溢れる学校を創っていきましょう。その土台として、全員が当たり前前を当たり前前にできる『普段を誇れる東海南』に、そして、人とのつながりが頑張る活力になるように、友だちや先生、家族との人間関係を大切にしてほしい」と式辞を述べました。

新入生代表挨拶では、花本 結さん（写真右）が「楽しいときも、苦しいときも、仲間たちと協力し、何事にも真剣に、前向きに取り組んでいきます」と決意を述べ、在校生代表生徒会長の田伏隆伸君（写真左）が「新入生の皆さん、何の心配もありません。私たちが全力でサポートします。この学校で学べてよかったと思えるような、夢中になれるものを見つけ、中学校生活を存分に楽しんでください」と頼もしく歓迎の言葉を述べました。

1年生は、先輩がつくってきた東海南の校風の中で、小学生から東海南生に成長していきます。2・3年生は態度や行動で示し、1年生はそれを肌で感じて見習っていく。こうして伝統は受け継がれていきます。でも、受け継ぐだけでは物足りません。各学年にはそれぞれ個性があります。その個性で東海南に新しい風を吹き込んでください。まずは、挨拶は相手より先に。授業に集中。掃除は徹底的に。など、毎日やることを一つ一つ大切にしましょう。これからの成長がとても楽しみです。



# 読解力の育成に向けて

本校は昨年度から海南省課題別教育研究指定事業を受け、中野上小学校と連携して、読解力の育成を軸とした学力向上に取り組んでおり、

12月に研究発表会を本校で開催します。「日本の中高生のほとんどが中学校の教科書の文章を正確に理解できない」という調査結果があるほどで、以前から読解力の低下が問題となっています。すべての学習の基礎基本となる読解力を身につけることは、将来生きていく上で大切なのは言うまでもありません。読解力が乏しければ、同じ文章を読んでも同じ話を聞いても、理解できなければ学ぶ機会を失っていくことになりかねないのです。早くから全国学力・学習状況調査(全国学調)では、長い問題文を読み解いて、

考え、説明するという思考力・表現力問題が出され、高校入試や大学入試も近年そのような読解力重視の傾向に大きく舵を切りました。本校では、「事実について書かれている文を正確に理解すること＝教科書を正確に読めること」を目標に、昨年度は、生徒の現状をふまえながら試行錯誤を繰り返してきました。例えば、宿題で音読視写に取り組み、毎日読み書きの時間を確保することで習慣化し、速く正確に文を書き写す力をつけること。授業でも教科書や問題を丁寧に読み解くこと。定期テストでは全教科で教科書の読解問題を取り入れました。暗記に頼るのではなく、読んで意味を理解することに重点を置いています。ひいては「分かる」→「考える」→「表現(行動)できる」ことを目指し、学校研究課題「わかる喜びと学力の向上を実感できる授業づくり～読解力の育成を軸として～」の下、学力向上に取り組んでいきます。生徒の皆さんも意識して取り組みましょう。



## クラブ紹介

12日、1年生に向けて全校集会でクラブ紹介がありました。各クラブは新入部員を獲得しようと、実技を披露したり、ペットボトルの的当てに先生も参加したりと、様々な工夫をこらしながらPRしました。部活動は間違いなく学校でのアクティブステージです。部活での人間関係や、自分が頑張っている姿を見てもらい知ってもらうことは学校生活を送る上でも大きな活力にもなります。是非、入部して活躍する姿を見せてください。



### 令和4年度 東海南中学校 学校教育目標

「人権と人とのつながりを大切にし、

自己の可能性を伸ばそうと努力し続ける生徒の育成」